

展示

観賞温室第2室 企画展示

- 11月14日(日)まで
「ビックリ! 世界のタネ展 ータネもしかけもある種子!?」
- 11月17日(水)~12月26日(日)
「クリスマス展ー巨大迷路でクリスマス」

観賞温室第3室 住宅内展示

- 9月28日(火)~10月17日(日)
「COSMOS(小宇宙)」
出展:マミフラワーデザインスクール
- 10月19日(火)~11月7日(日)
「森から暮らしへ 県産スギ活用の取組み」
出展:地球人ネットワークにいがた
- 11月9日(火)~11月28日(日)
「ハワイアンキルト作品展」
出展:伊藤真里子ハワイアンキルト教室
- 11月30日(火)~12月12日(日)
「ハーブクラフトアラカルト」
出展:ジャパンハーブソサエティ新潟支部
- 12月14日(火)~12月26日(日)
「フラワーアレンジメント作品展」
出展:フラワースクールはな舞

その他展示

- 10月5日(火)~10月31日(日)
「大文字草展」
- 10月30日(土)・10月31日(日)
「秋のいけばな展」
新津華道連盟・新潟県立植物園 共催
- 11月9日(火)~11月28日(日)
「植物写真展」 出展:秋葉区写真クラブ
- 11月17日(水)~11月28日(日)
「復活新津の菊 小林徹雄の生涯」

温室入館無料デー●12月1日(水)

当園は今年で開園12周年を迎えます。皆様からの日頃のご愛顧に感謝しまして、開園記念日の12月1日(水)に限り、温室入館料を無料といたします。

クリスマス開館延長

12月23日(木・祝)・24日(金)・25日(土)
18:30まで温室の開館時間を延長します。(最終入館18:00)

●観賞温室利用案内

開館 / 9:30~16:30(入館締切16:00)
入館料 / 大人600円、シルバー(65歳以上)500円、小中学生100円
※土日祝日は小中学生の入館料無料です。

●観賞温室開館カレンダー(●休館日)

10							11							12						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
						1			1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	6	7
3	4	5	6	7	8	9	7	8	9	10	11	12	13	5	6	7	8	9	10	11
10	11	12	13	14	15	16	14	15	16	17	18	19	20	12	13	14	15	16	17	18
17	18	19	20	21	22	23	21	22	23	24	25	26	27	19	20	21	22	23	24	25
24	25	26	27	28	29	30	28	29	30	・	・	・	・	26	27	28	29	30	31	・

※新年は1月4日(火)から開館します。

●交通アクセス ※駐車場無料(350台収容)

高速道路 / 磐越自動車道新津ICから国道403号三条・加茂方面へ約15分
一般道路 / (新潟方面から)国道49号茅野山ICから国道403号経由約20分
JR / 信越線古津駅から徒歩約20分
バス / 区バス:新津駅東口から「うららこすど」行き
「美術館・植物園前」下車徒歩約1分
新潟交通:新津駅東口から「矢代田経由白根・潟東営業所」行き
「新津美術館入口」下車徒歩約10分

教室

花と緑の教室

会場(または集合場所):花と緑の情報センター

※要申込(開催日の1カ月前から)

- 10月7日(木)10:00~12:00
「木の形 ー樹木は生きるためにどのように環境に適応してきたかー」
講師:八田洋章(国立科学博物館名誉研究員、樹形研究会代表)
定員:30名 参加費:無料
- 10月10日(日)10:00~11:30
「山野草の育て方」
講師:片山芳宣(県立植物園専門相談員)
定員:30名 参加費:無料
- 11月28日(日)10:00~15:00
「熱帯植物観賞とハワイアンキルト作品づくり(ミニコースター)」
講師:伊藤真里子(ハワイアンキルト講師)
定員:10名 参加費:1,000円
- 12月5日(日)10:00~11:30
「クリスマスリースづくり」
講師:永井明子(県立植物園)
定員:15名 参加費:1,000円
- 12月5日(日)13:30~15:00
「クリスマスリースづくり」
講師:林 寛子(県立植物園)
定員:15名 参加費:1,000円
- 12月12日(日)10:00~11:30
「正月飾りをつくろう」
講師:片山芳宣(県立植物園専門相談員)
定員:15名 参加費:500円

熱帯植物ガイドツアー

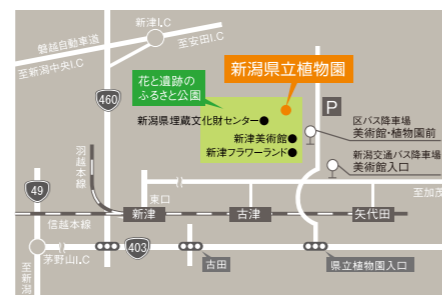
案内員が熱帯植物ドームの植物をわかりやすくご説明します。解説付きの見学は満足度倍増!ツアーに参加された方には記念写真のプレゼントもあります。

- ① 10:40~
- ② 14:40~(土・日・祝日は13:40からも実施)
当日温室発券カウンターにて受付・定員制

花と緑の相談コーナー

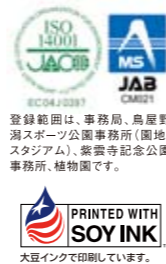
専門相談員がわかりやすくお答えします。来園のほかFAX、電子メールでもお気軽にお問い合わせ下さい。

専用ダイヤル0250-24-6437
受付日:水曜・日曜10:30~15:00



新潟県立植物園

〒956-0845 新潟市秋葉区金津186番地
TEL.0250-24-6465 FAX.0250-24-6410
Eメール botanical@greenery-niigata.or.jp
ホームページ http://botanical.greenery-niigata.or.jp/
指定管理者 財団法人 新潟県都市緑花センター



新潟県立植物園

植物園だより



サルナシ 富樫信平画 1985.9.26 新潟県荒川町産

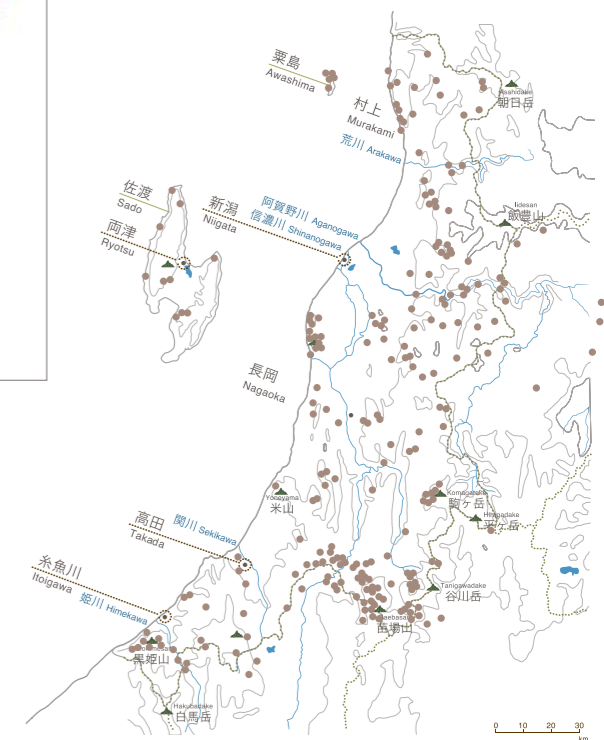
サルナシ

Actinidia arguta

〈マタタビ科〉

日本では北海道から九州に分布し、県内に広く生えるつる性木本。

キウイフルーツは中国原産で同属のシナサルナシ(*Actinidia chinensis*)を改良したもの。サルナシの果実も3cm弱と小型ではあるが、熟すと良い香りがして生で食べられる。キウイと異なり、果皮に毛はない。ナシに似たこの果実を、サルが好んで食べることからこの名があるという。おいしく実った時期に出逢ってみたい。(林 寛子)



新潟県内の分布(新潟県植物分布図集第6集より転載)





世界最大の種子
オオミヤシ



ハングライダーのモデル
アルソミトラ・マクロカルバ



企画展示

ビックリ! 世界のタネ展 -タネもしかけもある種子!?-

平成22年

9|8(水)-11|14(日)

羽根つきの羽根?
オオミフタバガキ



種子には子孫を残し、次世代へ生命をつなげる大切な役割があります。種子は環境の変化に適応しながら様々な形に進化し、固有の形態をもつに至りました。今回は「ビックリ! 世界のタネ展」と題し、種子を中心に植物の不思議に迫ります。

基本的に植物は移動できません。子孫が適した環境に育つためには、種子が虫や風、水などを利用して移動しなければなりません。そこに種子の奇妙で面白い形の秘密があるのです。

本展示では種子の形に隠された不思議をさぐりながら様々な種子の形に驚き、なるほどとうなずき、植物の力を感じていただけたと思います。種子がどのような飛び方をするのか模型を使った体験もできます。

新潟初公開となる世界最大の種子オオミヤシや世界各地の珍しい種類も登場しますのでお見逃しなく。



世界最大の松ぼっくり ナガミマツ



麻袋? ゴバンノアシ

園内
ウォッチング

温室●熱帯植物の果実、種子

現在、第2温室では、「ビックリ!世界のタネ展-タネもしかけもある種子!-」が開催されていますが、第1温室熱帯ドーム内にもいろいろな植物が種子をつけています。前回、報告したヒスイカズラの実は順調に生育し、現在、サヤの長さが20cmほどにまで生長しました(9月17日現在)。このほか昨年夏結実したソーセージノキ(*Kigelia pinnata*)、ヒョウタンノキ(*Crescentia cujete*)、カイエンナット(パキラ・*Pachira aquatica*)、コーヒーノキ(*Coffea arabica*)などの果実も見られます。ウツボカズラやツツジ属のようにサヤをつくり、中に非常に細かい種子をたくさん持つものもあります。これらの果実や種子の形、大きさには意外に理にかなった構造をしています。

小さい果実や種子は、風に飛ばされて散布されるものが多く、大きい果実や種子は、動物による散布やただ落ちるだけの重力散布のものが多いです。

果実や種子を「なんでこんな形、この大きさなんだろう」といろいろ推測するのも楽しいですよ。

(橋本 永)



ヒスイカズラの果実



カイエンナットの果実



ウツボカズラのサヤ(果実)、種子



ドラゴンフルーツの果実



カシワバアジサイ
Hydrangea quercifolia
アジサイ科



カンボク
Viburnum opulus var. *calvescens*
スイカズラ科



ニシキギ
Euonymus alatus
ニシキギ科



スイレン
Nymphaea cv.
スイレン科

企画展示

巨大迷路でクリスマス

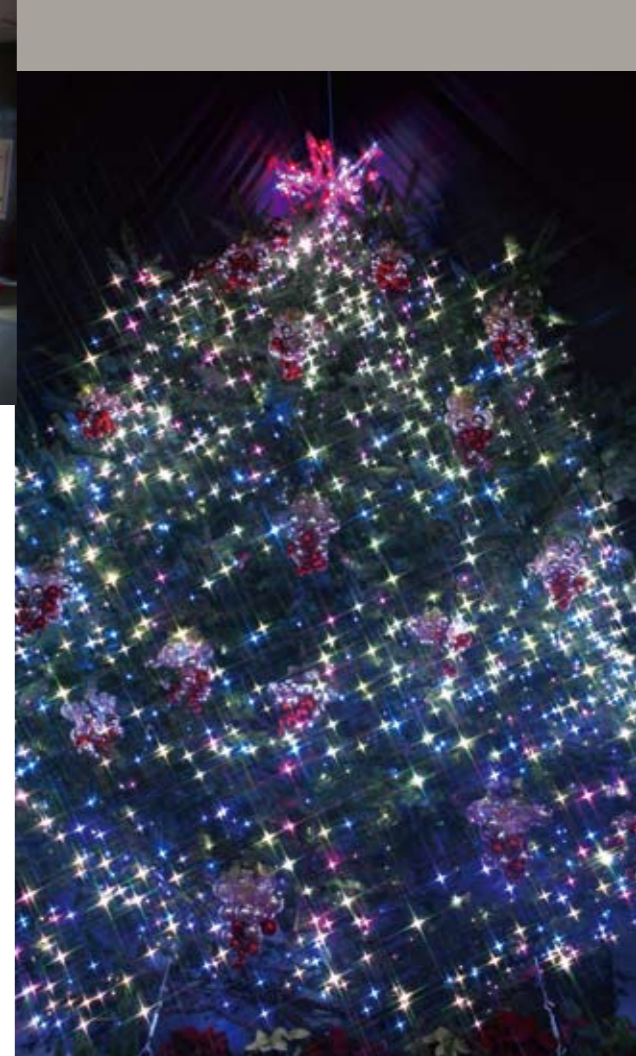
平成22年

11|17(水)-12|26(日)

毎年毎年「クリスマス展」を楽しみにしているチビッコたちに植物園からの大きな、大きなプレゼントです。

あっちへ行って、こっちに戻り、たどり着いたと思ったら入り口でした。なんてことはないと思いますが、今年の「クリスマス展」はクリスマスと巨大迷路が合体!迷路の中心には、クリスマスツリーがありますが、たどりつくのに一苦労するような仕掛けを準備しています。迷路の角々を曲がるたびに趣向をこらした展示が続きます。好評の電飾通路もあります。クリスマスで忘れてならないのがクリスマスケーキ!! 高さ1メートル直径2メートルの植物園特製巨大ケーキが登場します。あまりの大きさに小さな子どもたちが泣き出さないか心配です。もしかしたら、サンタさんが飛んでいるかも知れません。

まるでおもちゃ箱のような今年のクリスマス展。会場まるごと皆さんへのプレゼントです。



園内
ウォッチング

園地●紅葉、黄葉

空気が冷たくなってくると、落葉樹の葉は、緑から赤や橙、黄色などそれぞれ徐々に色を変えていきます。園地の中でも目立つのは、エントランスから見て池の対岸に見えるニシキギの鮮やかな赤で、毎年「あそこで紅葉しているのは何?」とたずねられます。カンボクはあたたかみのある黄色と赤になり、カシワバアジサイは深い赤色に染まります。ユリノキは、緑、黄色、茶色の葉が混在した状態になり、路面に落ちた葉は風に舞ってカラカラと音をたてます。番外編はスイレンの葉。朽ちて池の底に沈む前に、緑から黄、茶へと変化する葉色の水玉もようをつくります。(林 寛子)

NEWS 1

「ミズアオイを守ろう」小学校へ出張授業

昨年引き続き、「東区の特徴ある区づくり事」の一環として、新潟市東区の小学校で絶滅危惧種のミズアオイ(環境省 準絶滅危惧、新潟県 絶滅危惧Ⅱ類)についての出張授業を行いました。3カ年をかけ東区内の全小学校を対象に実施されるこの事業も2年目をむかえ、今年は6月17日～25日に山の下小学校、東山の下小学校、牡丹山小学校、南中野山小学校の4校を訪問しました。同区の海老ヶ瀬地区はミズアオイの県内6箇所目の自生地、池域で保全活動が進められていることもあり子供たちのミズアオイについての興味や意識が強く感じられました。

1限目はクイズなどを交えた講義、2限目はミズアオイの幼苗をプランターに植えつける実習でした。このプランターは新潟駅や東区内の公共施設のほか、植物園にも展示されました。開花後は小学校で採種し、来年の苗作り体験につなげます。

この授業をとおり、植物をとりまく環境について考えるよいきっかけになればと思っています。植物を守るためにはその環境を守ることが大切、そう思ってもらえるとこの授業は100点といえる…かな。(永井明子)



東山の下小学校での講義



山の下小学校での実習



プランターを植物園で展示

NEWS 3

大文字草展

平成22年10月5日(火)～10月31日(日)

今年は植物にも過酷な暑さとなりました。ダイヤモンドソウは常に水が滴り落ちるような湿り気のある場所を好むため、特に厳しい状況でした。そのような環境の中でも夏を乗り越えたダイヤモンドソウを展示し、皆さんに清楚と華やかさを兼ね備えた姿をお見せすることができ胸をなでおろしています。

植物園でないとなかなか見る機会がないダイヤモンドソウの多様な姿を是非ご覧ください。

(会場:観賞温室第3室)



ダイヤモンドソウ



華やかな園芸品種「花吹雪」

秋のいけばな展

平成22年10月30日(土)～31日(日)

文化の秋。植物園では日本文化の趣が漂ういけばな展が開催されます。植物をただ見るだけでなく、その姿や花器も含めその世界を味わうところがいけばなの魅力です。

日本古来からの伝統芸術であるいけばなは、時代の流れとともに少しずつ形を変え多くの流派が生まれています。新潟地区でも六流派が活動しており、今回の展示では個人作品のほか、植物園の植物を使った見ごたえある大作も出品されます。

(永井明子)

(会場:花と緑の情報センター)



いけばな展示会場の様子

NEWS 2

「夏の夜間開園」イベント報告

8月13日(金)から15日(日)までの3日間、20時30分まで開館時間を延長しました。

14日(土)には熱帯植物ドームのガイドツアーや水島あやさん、石丸涼子さんによるフルーツコンサートを開催。記録的な猛暑の今夏、暑さの和らぐ時間帯に夜の植物園をゆっくりとお楽しみいただきました。

また、今年初めて「真っ暗闇ナイトツアー」を企画しました。このツアーは、閉館後の暗い温室の中、懐中電灯を頼りに進むものです。当初14日(土)一夜限りの予定でしたが、予想を上回る申し込みがあり、15日(日)にも急遽追加のツアーを行いました。

暗闇の中は、よく見えない分、視覚以外の感覚が研ぎ澄まされます。シクンシヤやヤコウカなど、そこかしこに漂う甘い香りに皆さんうっとり。バナナの蕾の重さにもびっくり。嗅覚や触覚を駆使して、昼間とは違う夜の植物園を満喫していらっしゃいました。

参加者はご家族が中心でしたが、「こわかった」、「おもしろかった」、「また参加したい」など感想さまざま。お子さんにとっては夜更かしの特別な気分も手伝って、夏休みのよい思い出になったことでしょう。(大谷史絵)



真っ暗闇ナイトツアー



フルーツデュオコンサート

NEWS 4

「みんなの趣味の園芸」ホームページに植物園日記(ブログ)を公開中!

日本植物園協会からNHK出版に依頼し、「みんなの趣味の園芸」ホームページに「植物園日記」を公開することになりました。全国各地の植物園が日々植物園の情報を更新しています。

当園でも、8月19日より「植物園日記」を公開中です。植物、展示、イベントの情報ははじめとして、植物園のさまざまな活動を紹介しています。思っていたよりも記事を書くのは大変ですが、多くの方からコメントをお寄せいただき、うれしく思っています。

面白くてためになる記事になるようにがんばっていますので、是非ご覧ください。メンバー登録するとコメントが書き込めます。また、園芸、植物好きの方にも是非ご紹介ください。

新潟の園芸を盛り上げましょう!

(倉重祐二)



みんなの趣味の園芸(NHK出版)
<http://www.shuminoengei.jp/>

「みんなの趣味の園芸」で検索

↓
トップ画面から「みんなの園芸日記」を選択

↓
「植物園日記」から

↓
「新潟県立植物園」の記事へ

新潟の植物

イヌタデ

Persicaria longiseta
(タデ科)

秋はタデ科の季節です。タデ科の植物は、概ね初夏から花を咲かせ実を結びますが、草丈が低く目立たないため稲刈りが済んだ田んぼの畦などでやっと主役の座を勝ち取ることができるのです。イヌタデをはじめヤナギタデ、アキノウナギツカミ、ミゾソバなどは植物園の近くでごく普通に見られます。

タデ科の植物は小さくてピンク色の可愛い花を咲かせる種類が多く、8倍程度のルーペで観察すると面白い。「蓼食う虫も好き好き」辛い蓼さえ食う虫がいる、転じて人の好みはさまざまといった意味ですが、ピリッとして刺身のつまに使われるのはヤナギタデで、イヌタデは辛くありません。イヌタデのイヌは、役に立たない意味ですが、大きく成長すると一株の直径が60cmにもなり最も目立つ存在となります。むかし子供たちが、小さな赤い花を赤飯に見立てて、あかまんまと呼び、ままごとで使ったものです。

(田中良明)



新潟の天然記念物 番外編

沖縄の天然記念物

沖縄県東村のサキシマスオウノキ

Hiritiera littoralis

今回は、筆者が沖縄を訪れる機会があり、そこで見た沖縄県東村にある「川田のサキシマスオウノキ」について報告します。

サキシマスオウノキは海岸やマングローブ湿地に生育するアオギリ科の常緑高木で、薄い板根を発達させます。今回訪れた場所は、海岸線から500mほど内陸に入ったところで、近くの崖からの小さな滝が流れ落ち、地面が少し湿地状になっていました。幹の高さ1.2mぐらいのところから板根が5mほど蛇行しながら張り出しています。前々日に台風が通過した日に訪れたためか、ウルトラマンの顔に似た果実がいたるところに散乱していました。さらに株近くを見ると、実生苗が周りにたくさん生えていました。いつかこれらの中から、大木が育つのかなと自然のサイクルの一部を垣間見たような気がしました。

昭和59年3月22日に村の天然記念物に指定されました。高さ18m、胸高周囲2.9mで、沖縄本島でもっとも発達した板根を持っています。

(橋本 永)



川田のサキシマスオウノキ



うずまき状の板根もあった



発芽したばかりと思われる実生苗

友の会通信

夏の植物観察会で
湯沢へ行ってきました。

8月21日、22日両日ともに天候に恵まれ、新潟市の真夏の暑さからも解放されたさわやかな湯沢での観察会になりました。

1日目は大源太湖～魚野川沿い～和田小屋。1日目の最後には、難関、魚野川の沢渡りをみんなが体験。裸足になり、子供のように、はしゃいでいました。2日目は、元橋～苗場プリンスホテル駐車場までの散策。途中急斜面を下るところもあり、口数が少なくなっているところ、ヤマジノホトギスを見ると再び元気になる皆さん。植物の癒し効果を体験できたような気がします。

参加された方お疲れ様でした。以下は参加者の感想です。

- これからもいろんな植物に出会って、見てみたいと思っています。キノコなどは全く勉強しておらず、今回こんなにたくさん見られて良かったとおもいます。1年中キノコは出る、そして見られるとは…。知らない私は目からウロコの観察会でした。ありがとうございました。又皆様とお会いしたいです。
- 初めての友の会の観察会、植物に対する前向きな方々のグループであることにまず驚きでした。皆様本当に詳しく勉強させられました。良かったです。初めて逢う植物も多く感動でした。
- 何十年ぶりの素足での川渡り最高でした。それにしても足の裏の皮の薄さに我ながらびっくりです。年のせい？
- ミズメに会うのは4、5回目ですが、最初に紹介された木が大木だったのでビックリ。そのあと、自分で探すことができてうれしかったです。しかしまだ外観で判別するのはむずかしく、最後にはサロメチールののこりで確認です。
- キノコについて色々勉強させていただきましたが、やっぱり難しく「キノコはスーパーで」と思っております。本当にこのたびはありがとうございました。心に残る旅でした。
- ヤマジノホトギスの紫色の斑が沢山ある花から下山するたびに少なくなり最後には白色になったのが印象的でした。
- 観察地と高速道路の越後川口SAとの気温差に驚きました。しばし涼しい時間を過ごすことができました。いろいろありがとうございました。



ヤマジノホトギス



大源太湖



魚野川の沢渡り

新潟県立植物園 友の会会員募集

友の会会員を随時募集しています。興味のある方は友の会事務局(新潟県立植物園 TEL.0250-24-6465)までお問い合わせ下さい。

友の会ブログもご覧下さい

新潟県立植物園 友の会ブログを開設しています。会の最新情報、会員のつぶやき、発見などをどんどん更新していきます。ぜひ、ご覧下さい。情報はE-mail:bgn.tomonokai@gmail.comまで、携帯電話からも投稿できます。

ブログURL http://blogs.yahoo.co.jp/bgn_tomonokai

賛助会員 くわし達は「新潟県立植物園 友の会」の活動を応援しています。敬称略

●株式会社アート ●株式会社アート環境設計 ●齋藤不動産